

○事業所名	こどもサークル潮来（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 17日 ～ 2026年 1月 16日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	2025年 12月 22日 ～ 2026年 1月 23日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から児童の状況を保護者と共有することで、児童の健康や発達の状況について共通理解ができている。	送迎時の引き渡しの際や、連絡帳・アプリを通して児童の活動の様子や体調の変化等を保護者へ丁寧に伝達している。	保護者との信頼関係をより強化し、保護者の悩みやニーズ（進路や家庭での対応など）を定期面談で深掘りし、具体的な支援へと繋げていく。
2	個別支援計画の作成において、多機能型（児発・放デイ）のメリットを活かした一貫性のある支援を行っている。	児童発達支援管理責任者を中心として、未就学から就学後への移行を見据えた長期的な視点でアセスメントを行い、職員間で共有している。	学校や保育所等の関係機関との連携会議へ積極的に参加し、事業所内だけでなく地域全体で児童を支えるネットワークを構築する。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員のスキルアップと専門性の均一化。	経年数や職種（保育士、指導員、専門職）によって支援スキルや視点に差が生じることがある。	社内研修や外部研修への参加を奨励するとともに、事例検討会（ケース会議）の頻度を増やし、チーム全体での支援力の底上げを図る。
2			
3			